



VectorWorks

VectorWorks参照マニュアルの閲覧方法

その他の操作説明についてはWebマニュアルをご利用ください。



07アップデートサポートまたは、CAD画面右上の07ボタンから閲覧できます。



「07アップデートサポート」から開く

-1: デスクトップの「07ホームページ」を開き、「Webマニュアル」をクリックします。

WEBマニュアル 07ユーザー専用サイト

1: ソフトを選択してください。



webマニュアルの画面レイアウトは予告なく変更になる場合があります。

-2: 表示された画面上にある「テキスト」を選択します。

WEBマニュアル 07ユーザー専用サイト

1: ソフトを選択してください。



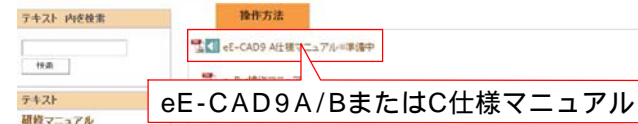
-3: 研修テキストを選択します。

2: カテゴリーを選択してください。



-4: eE-CAD9 BまたはC仕様マニュアルを選択します。

テキスト >> 研修マニュアル



eE-CAD9A/BまたはC仕様マニュアル

-5: VectorWorksを選択します。



補助線
飛び石
VectorWorks



VectorWorks

VectorWorksの基本操作、建物作成の説明です。

基本操作や建物作成の説明を閲覧できます。



リファレンス

WEBマニュアルはわからない部分をキーワードで検索して閲覧する事もできます。

VectorWorks 主要メニュー&ショートカット一覧

ファイル	新規	Ctrl + N	取り出し	
	新規 eE-CAD		アーケレンダー	Ctrl + Shift + 7
	開く	Ctrl + O	プリンタ設定	Ctrl + Shift + P
	閉じる	Ctrl + W	用紙設定	Ctrl + Alt + P
	保存	Ctrl + S	プリント	Ctrl + P
	別名で保存	Ctrl + Shift + S	終了	Ctrl + Q
	取り込む イメージファイル	Ctrl + 9		
編集	取り消し	Ctrl + Z	ペースト(同位置)	Ctrl + Shift + V
	やり直し	Ctrl + Shift + Z	複製	Ctrl + D
	カット	Ctrl + X	配列複製	Ctrl + Shift + D
	コピー	Ctrl + C	全てを選択	Ctrl + A
	ペースト	Ctrl + V	プロパティ	Ctrl + R
加工	移動	Ctrl + M	ハッチング	Ctrl + H
	モデルを移動	Ctrl + Shift + M	線分を結合	
	前後関係		結合(直)	Ctrl + J
	最前へ	Ctrl + F	線分を切断	Ctrl + T
	最後へ	Ctrl + B	合成	Ctrl + Shift + N
	整列	Ctrl + -	貼り合わせ	Ctrl + I
	回転		切り欠き	Ctrl + Shift + I
	左 90。	Ctrl + L	多角形に変換	Ctrl + Shift + @
	伸縮		線分に変換+コピー	Ctrl + @
階層	レイヤ		グループ	Ctrl + G
	他のレイヤを		グループ解除	Ctrl + U
	隠す	Ctrl + ,	グループに入る	Ctrl + [
	グレイ表示		グループを出す	Ctrl +]
	表示		シンボル登録	Ctrl + ;
	表示+スナップ	Ctrl + /	シンボル解除	Ctrl + :
	表示+スナップ+編集			
画面	原寸で見る	Ctrl + 3	縮尺	Ctrl + Alt + S
	用紙全体を見る	Ctrl + 4	環境設定	
	グリッド設定	Ctrl + 8	システムに保存	Ctrl + K
文字	フォント		スタイル	
	サイズ		行間	
	配列		大文字/小文字	

3D	3D を見る		メッシュに変換
	2D へ戻る	Ctrl + 5	モデルを切断
	床	Ctrl + Y	モデルを整列
	屋根	Ctrl + Shift + Y	レイヤリンク指定
	柱状体	Ctrl + E	アングルを決める
	3D 多角形に変換	Ctrl + *	屋根作成
	回転体		
	多段柱状体		
	ソリッドモデラー		
	噛み合わせる		
	削り取る		
	重なった部分を残す		
07exterior	3D 仕様入力 menu	Ctrl + ¥	
	07_計測起動_P7	e-Put 導入の場合	
表示	パレット		2D 編集
	スナップパレット		3D
	属性パレット		建物・製品作成パレット
	データパレット	Ctrl + +	onCAD パレット
	作業平面パレット		画面パレット
	リソースブラウザ	Ctrl + 6	作図パレット
ツール		Z	 X
		V	 C

基本操作と作図方法

※テキストではVW2008を使用していますが、操作方法については各バージョンほぼ同じです。
手順に沿って作業を進めてください。

CAD起動

CADを起動し作図用紙の選択をしましょう。



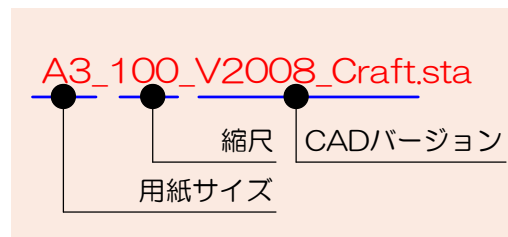
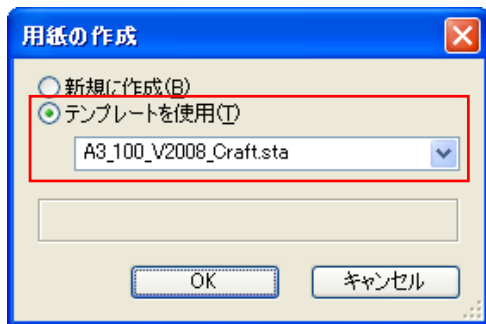
① VectorWorksの起動

デスクトップの「VectorWorks」をダブルクリックします。

② テンプレートを選択

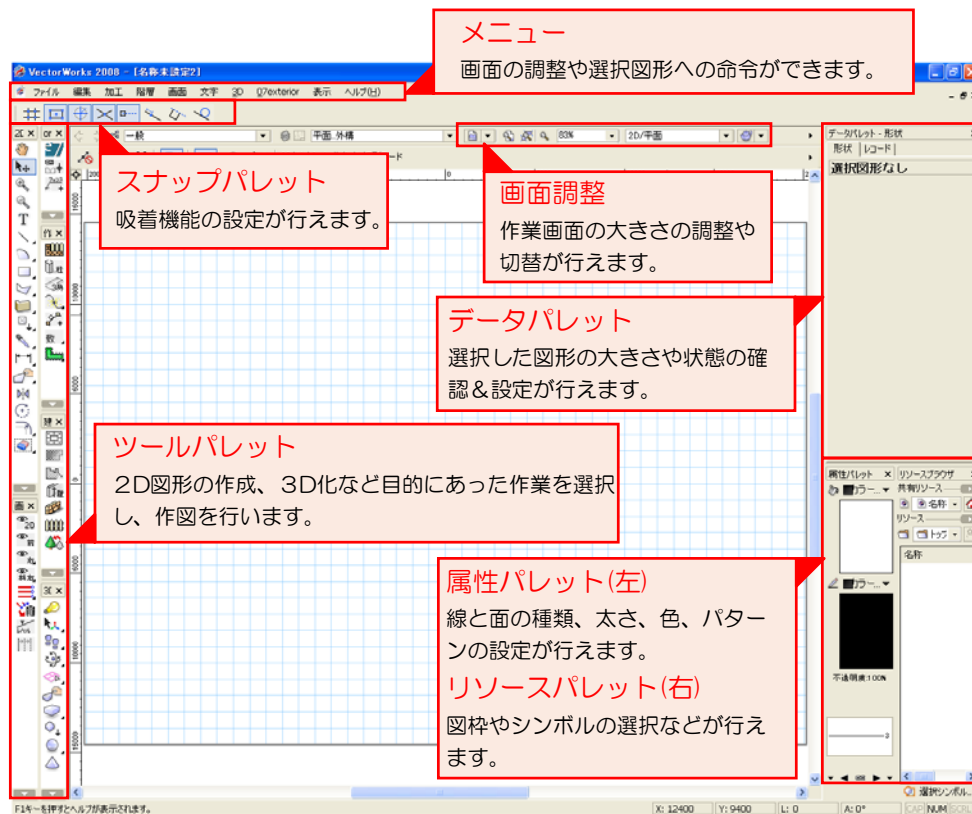
用紙のサイズと図面の縮尺に合わせて作図用紙を選択します。

ファイルメニュー → 新規



画面構成

各画面の名称を覚えてスムーズに作業が行えるようにしましょう。



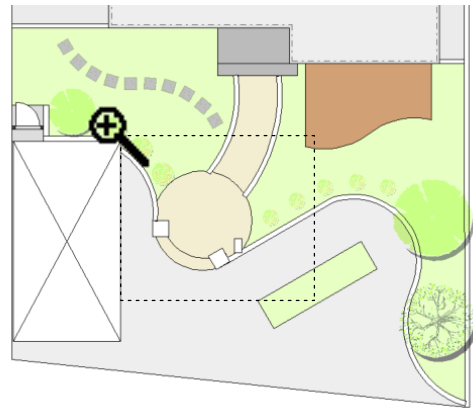
画面調整

拡大や縮小、表示位置の変更をマスターして快適に作業できるようにしましょう。

拡大： 細かな作業をするときや確認の際に行います。



拡大ツール：
大きく見たい部分を囲うように
ドラックします。



縮小： 広い範囲を見たり、全体の確認をするときに行います。

その1：ツールを使って



縮小ツール：
ツールボタンの上をダブルクリック
して使用します。

その2：画面調整機能を使って



画面移動： 確認する位置を移動させる時に行います。

その1：ツールを使って



パンカーソルツール：
作業画面内をドラックして使用します。

その2：キーボードを使って



画面を移動させたい方向の矢印キーを
押します。

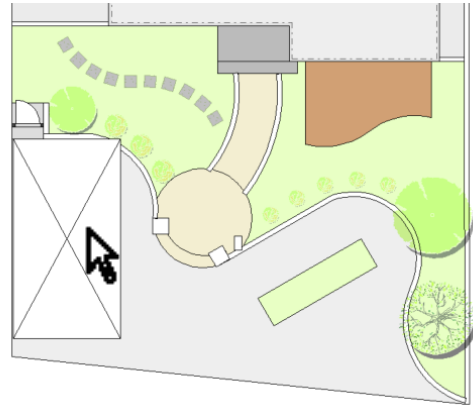
図形選択

どのユニットに作業がしたいのか確実に選択できるようしっかりとマスターしましょう。

ひとつだけ選択： 選択の基本です。



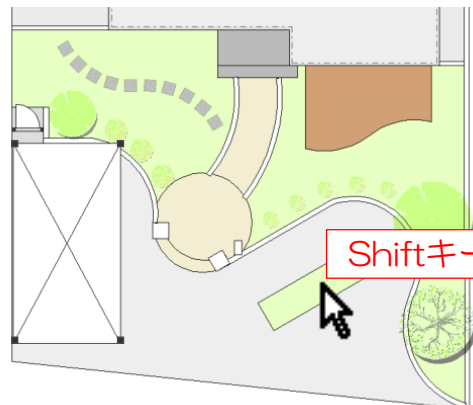
セレクトポイントツール：
選択したいユニットをクリックします。



追加選択： 複数のユニットを同時に選択する時に行います。



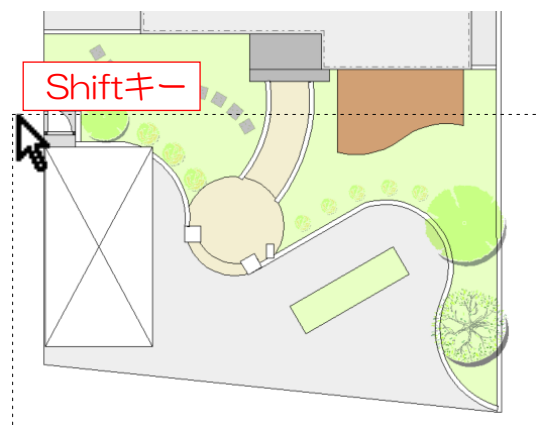
セレクトポイントツール：
『Shiftキー』を押したまま、選択したい
ユニットをクリックします。



範囲選択： まとめて選択したい時に行います。



セレクトポイントツール：
『Shiftキー』を押したまま、選択したい
ユニットを囲うようにドラックします。



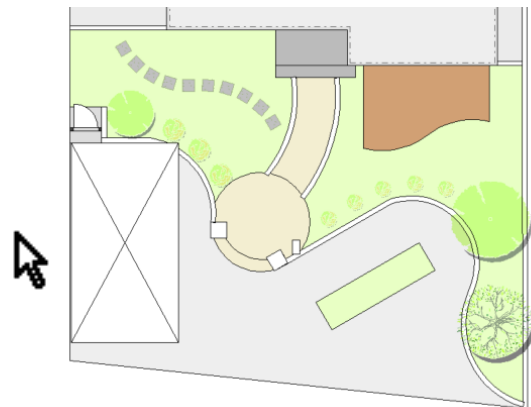
選択解除

選択のしなおしや余分なユニットを選択から外すときに行います。

全て解除： 選択のしなおしや作業終了時に行います。



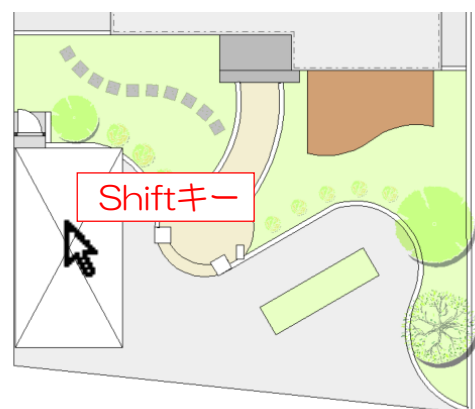
セレクションポインタツール：
ユニットがないところでクリックします。



一つだけ解除： 余分に選択してしまったユニットを選択から外すときに行います。



セレクションポインタツール：
『Shiftキー』を押したまま、選択を
解除したいユニットをクリックします。



図形移動

作成した図形の配置位置を動かす方法をマスターしましょう。

任意に移動： 配置位置を任意に決める時に行います。

その1：ツールを使って



セレクトポイントツール：
移動させたい図形を選択後、ドラックで移動させます。

移動時のマウスポインタ



その2：キーボードを使って

Shiftキー



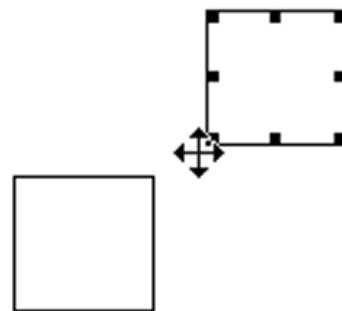
図形選択後、『Shiftキー』を押したまま、移動させたい方向のキーを押します。

位置あわせ： 図形の角や端を合わせて移動させたい時に行います。



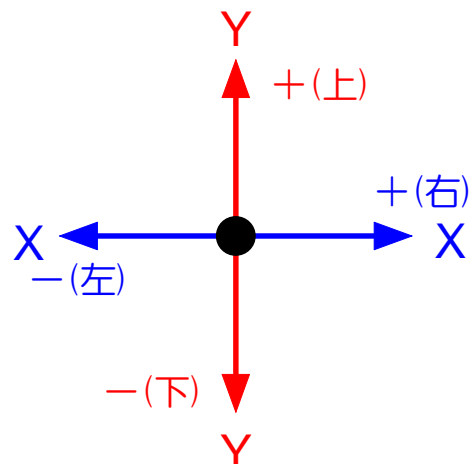
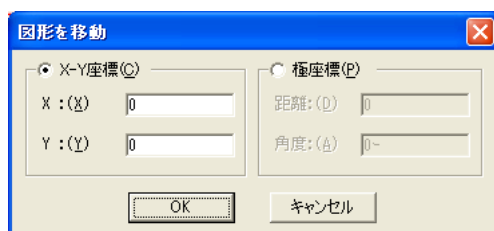
セレクトポイントツール：
図形選択後、図形の角にマウスを合わせ移動先の角に移動します。

移動時のマウスポインタ



数値移動： メニューを使って配置位置を数値で決定したい時に行います。

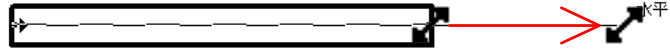
加工メニュー → 移動



図形サイズ変更

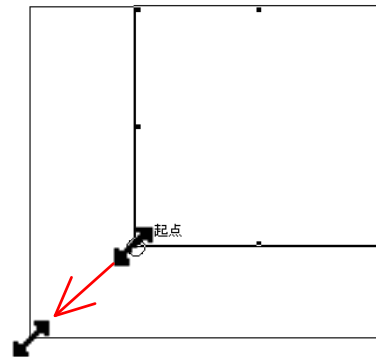
作成した図形のサイズの変更方法をマスターしましょう。

任意に変更： サイズに関係なく自由に図形を伸縮できます。



セレクションポイントツール：
図形選択後、伸縮させたい図形にマウス
を合わせてドラックします。

移動時のマウスポインタ



数値指定： データパレットを使って数値指定で図形のサイズを決定することができます。

データパレット

選択した図形の情報が表示され、サイズや設定の変更が行えます。

データパレット - 形状

形状 | レコード |

図形の種類: **四角形**

クラス: 一般

レイヤ: 平面...外構

幅: 6000

高さ: 2300

幅: 項目の辺にマークを表示

基準位置: X: -12350, Y: 8850

角度: 0°

図形の大きさ: ΔX = 横, ΔY = 縦

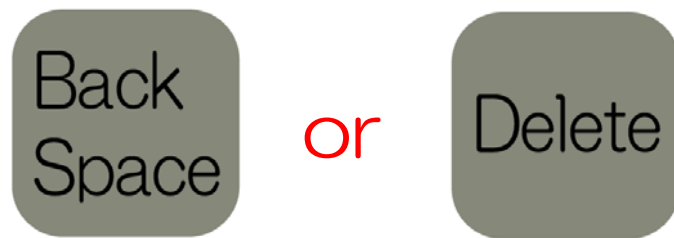
図形の周の長さ 面積: 周長: 16600, 面積: 13800000 sq mm

図形削除

必要なくなったユニットを消す作業です。



セレクトポイントツール：
削除したいユニットを選択後、
『BackSpace』 or 『Delete』 キーを押します。



取り消し

作業の失敗をした時に行います。

編集メニュー → 取り消し

編集	加工	階層	画面	文字
	取り消し			Ctrl+Z
	やり直し			Ctrl+Shift+Z

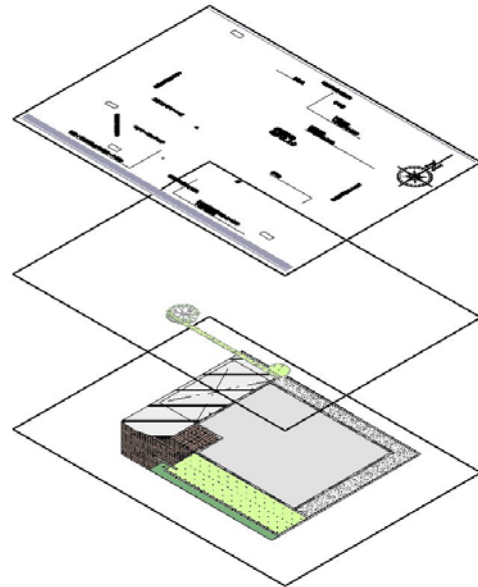
取り消しは20回まで行えます。

レイヤについて

レイヤのしくみを理解しましょう。

レイヤとは： 何層にも重なっている透明な作業シートです。

植栽、注釈などそれぞれの作業専用のレイヤがあります。
状況に応じてレイヤを透明や不透明表示にして作業ができます。



レイヤの種類： 各レイヤで行う作業とレイヤの名前を覚えましょう。

- ◇ 図枠 ----- 手動で図枠を配置する場合や、オリジナル図枠を登録するときに使用します。
- ◇ リンク_線R/3DP ----- 線画立面図の作成と3DP仕上の際に使用します。
- ◇ リンク_ARC/CGP ----- ARC仕上とCGP仕上の際に使用します。
- ◇ 作成 ----- 自由作業レイヤです。
- ◇ 3D_植栽(線R/3DP)HM ----- 線画立面が必要な時は手動で2.5D樹木を配置します。
- ◇ 3D_植栽(ARC/CGP) ----- 『平面_植栽』レイヤから植栽をコピー&ペーストします。
- ◇ 3D_外構 ----- 高さやレベルの設定など3D作業を行います。
- ◇ 3D_建物 ----- 3D建物データを配置します。
- ◆ 平面_注釈 ----- 注釈を配置します。
- ◆ 平面_植栽 ----- 植栽デザイナー用3D樹木を配置します。
- ◆ 平面_外構 ----- 敷地、基礎、外構、製品を配置します。
- ◆ 立面_注釈 ----- 立面注釈を配置します。
- ◆ 画像_立面_パース ----- 陰面画像が配置します。ARCなどの静止画像を配置します。
- ◇ EPSON ----- カラーシンボル配置レイヤ

レイヤ設定： 表示&表示設定やレイヤの詳細設定の方法です。

階層メニュー → 他のレイヤを
→ 隠す

その1：表示&非表示

作業状況に合わせて各レイヤを隠したり表示させたりできます。

階層メニュー → 他のレイヤを
→ 表示+スナップ

その2：詳細設定

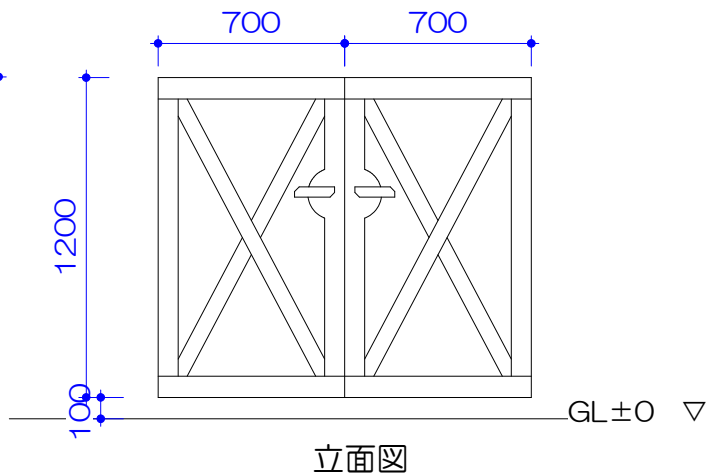
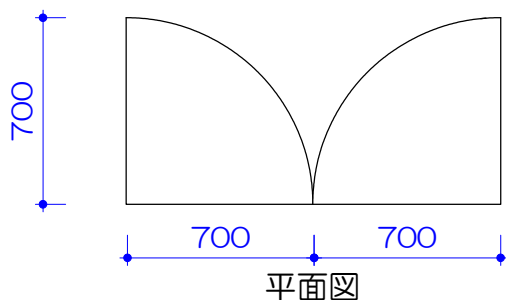
階層メニュー → レイヤ

レイヤの作成&削除、縮尺の変更などの詳細設定が行えます。



シンボル作成～eE-CADへの取り込み

VectorWorksでオリジナルシンボルを作成し、eE-CADに登録します。



3D作図： シンボルの3D図形を作成します。

3Dを見る：前



四角形ツール



多角形ツール



円弧ツール



加工メニュー → 貼り合わせ

柱状体ツール



2Dへ戻るツール



① 立面作図

前から見た図を描きます。

! 3D図形は面で作図します

面を持った、四角形や多角形で作図します。面の色はなしにしないでください。

② 3D変換

厚みの設定をし3D図形にします。

③ 位置調整

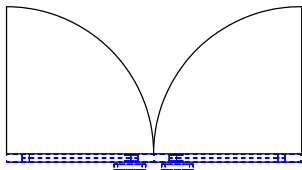
2Dからの位置を合わせます。

2D作図： シンボルの平面図形を作成します。

円弧ツール



線ツール



① 平面作図

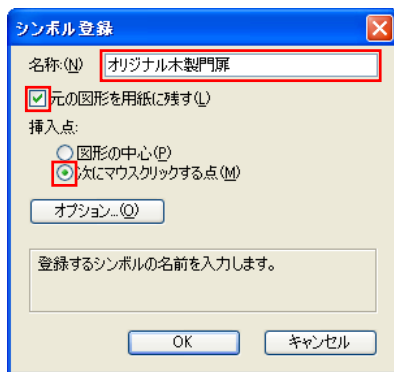
平面図用の図形を描きます。

! 面の設定

面設定をなしにすると、平面図の図形が透けます。

シンボル登録： VectorWorksでシンボルの登録をします。

階層メニュー → シンボル登録



① 選択

2Dと3D図形を選択します。

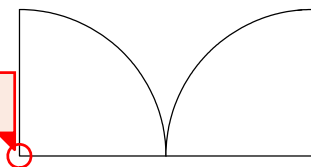
② シンボル登録

シンボルとして登録します。

! シンボル

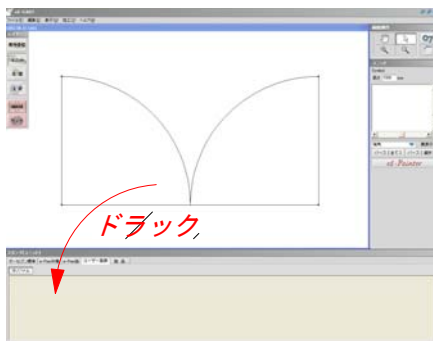
2Dと3Dデータが必要です。
前からなど見ている画面により
2D・3Dが切り替えられます。

挿入点



ユーザー登録： VectorWorksで作成したシンボルをeE-CADに取り込みユーザー登録します。

07eE-CAD 新規編集



① 選択

登録するシンボルを選択します。

② eE-CAD起動

作成したシンボルをeE-CADに取り込みます。

③ ユーザー登録

シンボルをユーザー登録します。

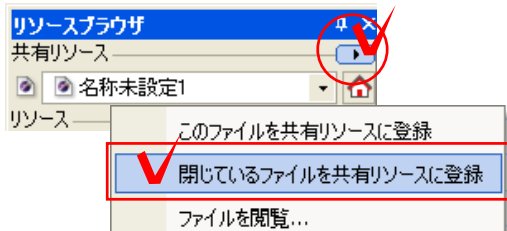


詳細は 付録 → シンボル登録 を参照してください。

図枠の登録と配置方法

【図枠の登録】

リソースパレットに図枠ファイルを共有リソースとして登録する方法です。



マイコンピュータ →
C : → Programfiles
→ VW2008
→ 図枠

① 共有リソース設定

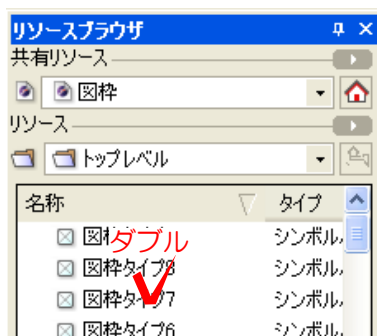
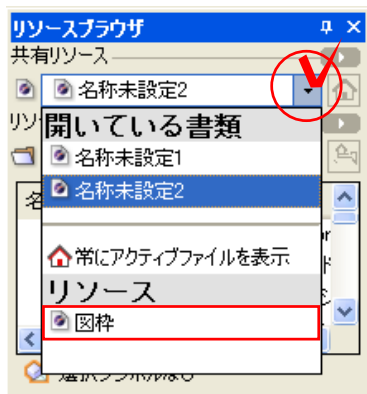
『リソースパレット』の共有リソースから『閉じているファイルを共有リソースファイルに登録』を選択します。

② 図枠ファイル選択

インストール済みの図枠ファイルを選択します。

【図枠の配置方法】

VectorWorks上で図枠を配置する方法です。



① 図枠ファイル選択

リソースブラウザから図枠ファイルの選択をします。

! リソース
リソースに『図枠』ファイルがない場合は上記手順で設定を行います。

② 図枠選択&配置

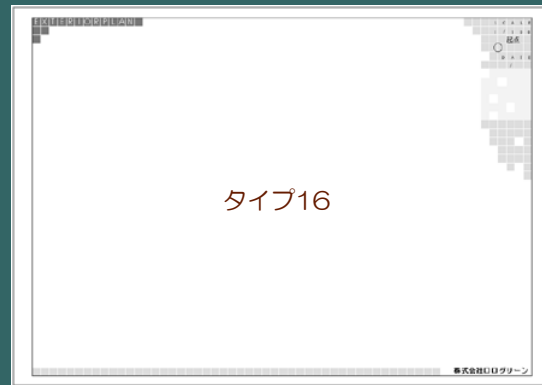
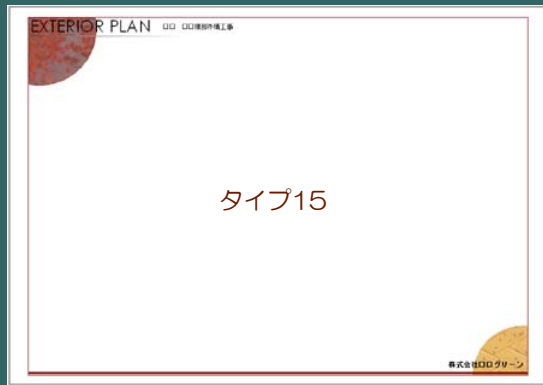
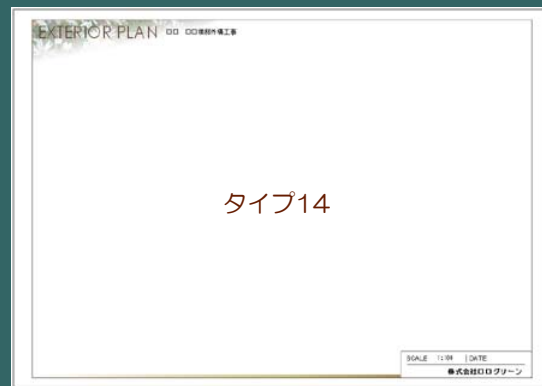
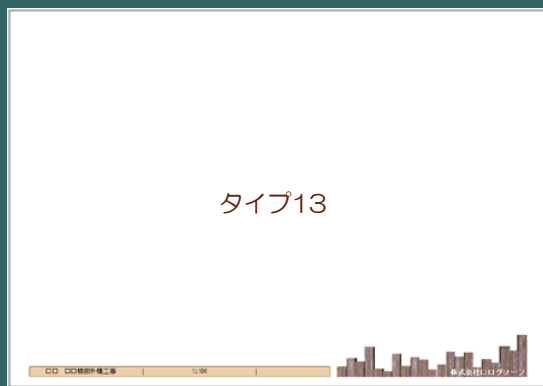
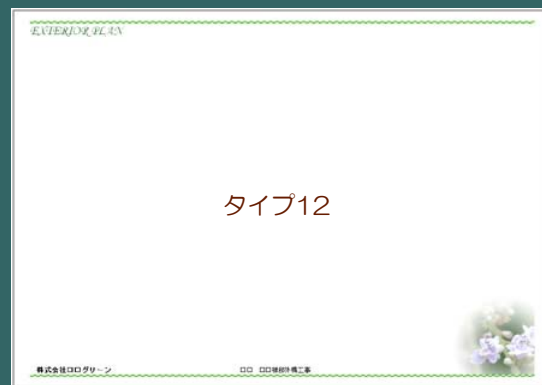
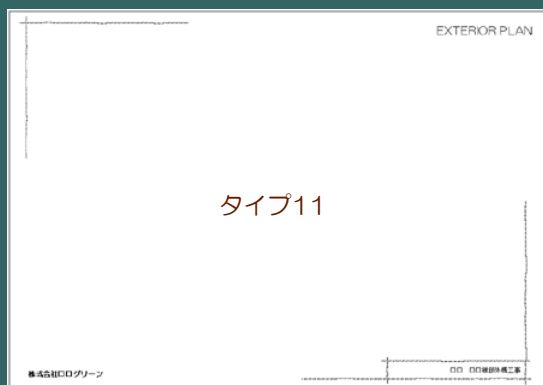
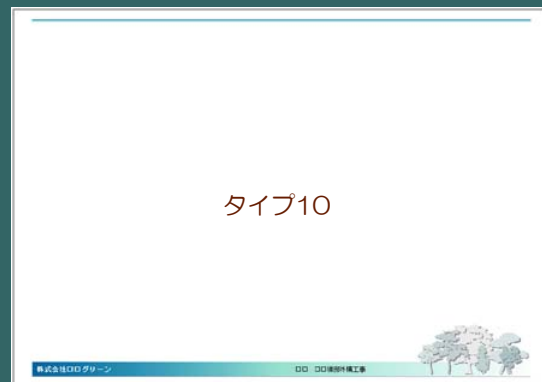
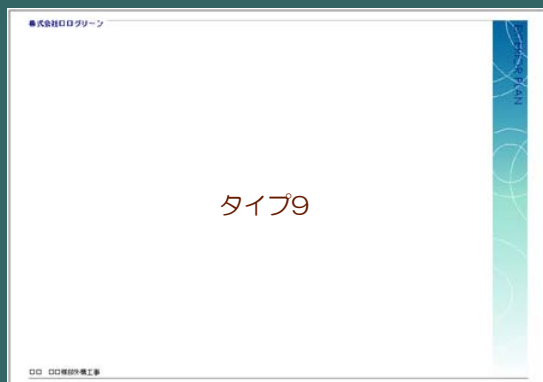
使用する図枠をダブルクリックで選択し、図面上へ配置します。

! 図枠リスト
登録されている図枠リストがマニュアルの付属になっています。参考にして選択してください。

16種類の図枠をご用意しております。

プランのイメージに合わせて効果的なプレゼンにご利用ください。





建物作成

テキスト・操作説明についてはWebマニュアルをご利用ください。



07アップデートサポートまたは、CAD画面右上の07ボタンから閲覧できます。

「07アップデートサポート」から開く

-1: デスクトップの「07ホームページ」を開き、「Webマニュアル」をクリックします。


-2: 表示された画面上にある「テキスト」を選択します。

-3: 研修テキストを選択します。

-4: eE-CAD9 BまたはC仕様マニュアルを選択します。

-5: VectorWorksを選択します。

基本操作や建物作成の説明を閲覧できます。

 WEBマニュアルはわからない部分をキーワードで検索して閲覧する事もできます。



補助線
飛び石
VectorWorks



VectorWorks

VectorWorksの基本操作、建物作成の説明です。



リファレンス